



東日本大震災311の 災害ボランティアに参加して -ボランティア作業を中心に-

平成23(2011)年4月27日

森野 治美

Plone研究会 会員



目次

- 参加したきっかけ
- 日程、場所
- やって来た事
- システムユーザ、システム構築側としての対応検討
- まとめ

参加したきっかけ

- 3月末に山スキーの友人が宮城県へ災害ボランティアに行って話を聞いたこと。
 - すでに勤務先の一部社員は、ボランティア休暇を取得して、2週間実行済
 - 4月以降の早期退職プログラムで時間が自由
- ⇒(申し訳ないが)阪神・淡路大震災以上の悲惨さを直に感じたこと

日程、場所

- 日程
 - 4月14日(木)~4月20日(水)の1週間
- 場所
 - 宮城県登米市 旧鱒淵小学校体育館(拠点)
- 主な活動場所
 - 気仙沼市、石巻市
- 主催団体

RQ市民災害救援センター(略称「RQ」=レスキューの略)とは・・

東日本大震災の被災者救援のために、3月13日に発足した任意団体です。

ます ぶち
■ 旧鱒淵小学校体育館/校舎全景



■ 旧鱒淵小学校体育館/校舎

体育館(支援拠点)



校舎(南三陸町避難所)



位置関係-登米市/気仙沼市/石巻市



東北道 ↓ ↓ 登米市



作業工程

参加

不参加

総務

電話対応/被災者要望/受付/ボランティア受入

キッチン

糧食/テント管理

フロア

物資受領/インベントリ/デリバリサポート

デリバリー

物資搬送/要望ヒアリング→反映/現地要望作業

河北支援

地域要望支援

温泉送迎

定期的入浴送迎

唐桑支援

地域炊出し支援

ひまわり

サロン/温水シャワー

一日の日程(デリバリー/フロア)

- 朝礼
- 作業(8:30～17:00)
 - 前日分担者と物資の抽出
 - 依頼元実施内容に基づいた道具確認/準備
 - デリバリー/要望ヒアリング/近隣状況の確認
- 終礼
 - 実施結果報告書作成
 - 振り返り
 - 翌日の分担決定、アレンジ

フロア作業(1)

- 物資の受け入れ
 - 在京本部、支援者/支援団体送付物資の受領
 - 受領物の確認
- 物資の仕分け、分類、整理
 - 開梱後の仕分け、定位置への配置
 - 一個の梱包物に複数種類物資の混載
 - 拠点における種類別場所への収納、配置
 - インベントリー管理

フロア作業(2)

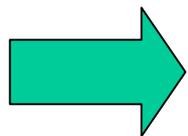
- デリバリーグループ配布用物資準備
 - 被災者への配送物の抽出と再梱包
 - 要請を受けた被災者要望品の収集
 - 現地スタッフへの配送品
- 被災者への個別対応
 - 個別訪問被災者への対応
 - (避難所と個別避難先あるいは自宅一部損壊者)
 - 要望ヒアリング

フロアの状況



デリバリー

- 物資の配送
- 被災者の要望ヒアリング
- 物資以外の困り事の相談
 - 水タンク-ほぼ毎日100リットル@小規模孤立避難者
 - 冬タイヤ⇒夏タイヤ交換
 - 自転車/一輪車のパンク修理
 - 家財の撤去/廃棄
 - 建具の取り外し



商売として実施できる場所、人も無くなってしまった

デリバリ途中の気仙沼市本吉地区



←海岸沿い(大谷海岸付近)

線路まで押し出された住宅→



高台の家(井戸有り、電気開通直後)



物資の搬送以外の要望

1,冬タイヤの交換

→GS/自動車工場の損壊

2,建具の取り外し

→地震で建物の歪みにより引戸/襖
/障子の開閉が困難

物資の搬送以外の要望

1,パンク修理

2,タイヤ交換

近所では、家族縁者単位で避難を
行いサポートしている。

→いわゆる避難所でない“避難所”



重点支援地区(河北)サポート



落橋した新北上大橋。手前は、上流500m地点まで押し流された鉄骨

作業内容

- 1, 床下/床上のへドロ除去-床上2m浸水
- 2, 家財日用品の運び出し
- 3, 破壊機器(業務用冷蔵庫)類の撤去
- 4, 食料倉庫の米穀類の廃棄作業
- 5, 不用品/廃棄品の集積所への運搬

ITリソースとの関わり合い

- 現地本部
 - 携帯使用可能(FOMA/AU/SB/但しmoviはNG)
 - ネット利用可能(3G+WIFI)
 - GoogleDocumentsの利用
 - GoogleMapの利用
 - 道路地図/地形図との併用
 - カーナビの地点登録点と照合
(分かりにくい私道-地図に未掲載)
- 停電あり



システム系への昇華？

- All-in-One災害パッケージ？
 - ボランティア受付
 - ボランティアアレンジ/ディプロイ
 - 物資のロジスティックス/インベントリ
 - 非公的孤立避難所対応
 - 要望リスト
 - 個別ボランティアの気づきだけではバラツキ
- #被災者は、多少の不足に関してはまだ寛容

床上浸水家屋のヘドロ出し作業

その他 汚濁物質やエアロソルのリボンが回収を忘れずだ。水に浸った車はゼロリッパいにエンジンをつけられない(昇火やエンジンが全壊する恐れあり)

1. 泥出し 土を水で洗い流す。水が汚れるので、汚れた水は排水溝に流す。汚れた水は排水溝に流す。

2. 洗浄 汚れた畳や敷き藁は、水で洗う。洗った水は排水溝に流す。

3. 消毒乾燥 消毒剤を散布し、乾燥させる。消毒剤は排水溝に流す。

この服装で完ペキ

水害ボランティア 虎の巻

あつても **長袖**

ベストポーチ
ティラック
指輪などをとる

雨具 (上着はレインコート、下着は防水パン)

梅干 (塩水は必須)

ミニ応急セット

貴重品

廃棄するものでも、家族にとっては大切な思い出のつまった物ばかりです。取り扱いには十分配慮しましょう。

被災された方の気持ちやペースにあわせよう/話をたっぷり聞こう/真剣さと笑顔を繰り返して/水分と休憩はしっかりとろう

システムとして何が貢献可能か

- Blogで義捐金、募金を実施
 - システムユーザとしての活用
- クラウド環境でのシステム提供
 - 現地での電源供給は、不安定/時刻制限
- ハイチ大震災時の事例
 - OSM(Open Street Map)の例⇒日本では?
- sinsai.infoから、各活動拠点への展開手順
- 地についたサポート
 - リスクを想定した準備と訓練
 - 原発事例と同じ?

色々な貢献の方法-謝々台湾計画Blog-



・台湾が多額の義捐金-140億円相当額以上-を集めてくれたが、日本政府の感謝広告から外された

⇒せめてお礼を言うのが礼儀だろう。現地新聞へ感謝広告をするための募金を超える金額は赤十字へ

4月26日締め切り
5月 3日掲載予定

6,000人強/約2,000万円-1週間

これからも継続的な人的支援

- 物資
 - 1ヶ月経過後も支援無し孤立グループの存在
 - 水道はなかなか復旧しない
 - 電気は突貫工事のタワー
 - 津波による被害-おそらく数年がかり-
 - 家屋の泥だし
 - 田畑の冠水土壌の入替、堆積ヘドロ、ごみ
 - 森林に散在する瓦礫の撤去
- #重機が必要な部分は、自衛隊/地元自治体

福島県を助け新潟県を支援するのは責務



- 福島県、新潟県(柏崎)は非東京電力管内！

-今回の事象が出るまで、全然知らなかった-

- 東京電力管内の人々は、辛い目に遭っている福島の人たちを支援するのは責務